

やすだ せつこ
安田 節子さん (58歳)

営農地:宮若市三ヶ畑
主な農産物:花木、枝物、葉物、
タケノコ、しめ縄、松竹梅、門松



新しい農業のスタイルを目指して

● 就農のきっかけ

いつもまわりに 花があった、仲間がいた

福岡県赤村に生まれた安田さん、花木・枝物の生産販売をしていたお爺さんから「生け花」の手ほどきを受け、学生のときには人に教えるほどの腕前だったそうです。

短大卒業後は何の迷いもなく就農、お爺さんの農園を手伝うかたわら、農園で生産された花木や枝物などを活かした「生け花教室」を始めました。また、地元の農業クラブにも積極的に参加し、多方面に仲間の輪を広げていきました。

農業クラブ活動で知り合ったのが、宮若市で花木・枝物生産に熱心に取り組んでいた現在の夫です。県農業クラブのリーダーでもあった夫の克徳さんとは24歳で結婚、夫婦で協力しながら、新しい農家の型を目指しました。

● 私の今～就農後の道のり～

ワークライフバランスの実現のために

安田さんのほ場は宮若市の中山間地、八木山山麓の渓流に沿った斜面に広がっており、約4haの田畑や山林に、「サカキ」や「花桃」、「ニューサイラン」など、多種多様な花木・枝物類を栽培しています。

結婚した当時は、タケノコと花木・枝物を中心とした農業経営でしたが、売り上げの向上を目指して「露地ギク」を導入しました。3人の子育てをしながらの農業と家庭の両立は大変で、「若かったから頑張れたのかな?」と笑顔で話されました。

しかし、家族経営のままでは農業と家庭を区別するのは難しく、また、若い人が働きやすい環境づくりが必要との思いから「法人化」を考えました。夫婦で「法人化手続き」や「経営ノウハウ」を学び、平成15年に「(有)グリーンハート安田花卉」を設立。現在は、次男の一平さんも就農し、従業員4名で、花木や草花、タケノコ等のほか、正月には「しめ縄」や「門松」、「松竹梅」等の工芸品を出荷しています。

法人化で就業時間・農休日が明確になり、「心にゆとりがもてるようになりました。」と安田さん。日々の仕事はできるだけ時間内に切り上げ、家族団欒の時間を大切にしています。

● これからの夢、目標

「やすらぎ」と「癒し」を届けたい!

今考えているのは、「やすらぎ」や「癒し」を届ける「農業の6次産業化」です。きっかけは、自宅で開催した「苔玉作り教室」。最初は人が集まるか不安でしたが、都市近郊から多数の参加があり大好評でした。常に自然が身近にあったのでその有難さを感じる事がなかったのですが、山里の環境が育む「やすらぎ」や「癒し」の大切さを実感したそうです。

これからは、都市部の方を自宅に招いて、山里を自由に散策・採集した野草や花木を使ったアレンジメント体験や地元で採れた季節の食材を使った“花Café”にもチャレンジしたいと思っています。子育ても一段落した安田さんからは、地域の素材を活かした素敵なアイデアが続々と浮かんでいるようです。



プロフィール

- 家族構成 / 本人、夫、子3人、義父
- 営農年数 / 約38年 ■ 耕作(経営)面積 / 4ha
- 販路 / 市場等

就農を考えている女性へ ♡

人と人のつながりを大切にしてください。一人で悩んだり、殻に閉じこもらず近くの「農業女性」や「お姑さん」を上手く頼って下さいね。背伸びして回りに追いつく必要はないのですから。